

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

観光政策課（内線：7638）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民工芸振興事業	2,249	1,819	△ 430				2,249	
トータルコスト	18,819千円（前年度 17,043千円）							
従事する職員数	正職員：2.0人							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営等							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木竹、玩具等の民工芸の持続可能な自立を達成するため、情報発信、愛用促進、展示、人材育成、記録保存、マスコミ誘致等の事業を行う。

2 平成 2 1 年度事業費

（単位：千円）

区 分	事業費	内 容
(1) 情報発信事業	171	①とりネット公式サイトホームページ「とっとりの手仕事」を運営し、県内民工芸に係る情報を広く発信する。 ②県内の民工芸品販売箇所をPRする「民工芸マップ」を作成・頒布する。
(2) 愛用促進事業	106	民工芸品を積極的に記念品・調度品等に利用するため、民工芸品情報や活用案・事例集が一覧できるデータベース「つかいもんデータベース」を運営し、庁内での愛用を促進する。
(3) 民工芸展示事業	400	高校・大学生等の若年層対象の「パネル巡回展示事業」と、広く県民を対象とした「公共施設展示事業」を実施し、民工芸に対する理解と関心を深めるための触れ合いの場を創出する。
(4) 人材交流・育成事業	117	作り手の交流と情報収集のため、伝統工芸又はデザイン分野の講師を招聘して研修会を開催する。（民工芸品生産者約30～40名を対象に実施）
(5) 記録保存事業	725	後継者難の民工芸の制作工程を映像で残し、公開することで活性化を図るため、「民工芸技術デジタルアーカイブ化事業」を実施する。
(6) マスコミ誘致事業	730	世界的な民芸ブームの中で、本県を「民芸の地」としてイメージ付けるために、専門誌、生活情報誌等を誘致する。